

平成29年度 学年 [1年] 教科 [数学]

科目・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
探究数学I	6	全コース	A～D	大西・小埜・林
目 標	学習指導要領では、数学I(4単位)、数学A(2単位)だが、3期目のSSHの指定を受け、学校設定科目として「探究数学I(6単位)」を設定した。 目的：①系統立てた学習 ②理科の基礎科目との連携			
大切に育てたいもの	意欲・自主性	態度・処理	見方・考え方	知識・理解
	数学は最初にポイントがくることを意識させ、準備をした上で物事に取りかかるという姿勢を育てたい。	数学を学習する習慣をつける、また「聞けば分かる」で終わらず、必ず手を動かして計算するという態度を育てたい。	覚えておく事項か、その場で考える部分かを区別した上で説明し、また生徒にもその区別ができるようにさせたい。	抽象思考＝言語思考なので、「言葉を大切に」し、不完全な部分は、図・表・グラフを利用し、理解を深めていきたい。

[探究数学I 6単位を α 3時間、 β 3時間に分けて進める]

探究数学I α (3時間)		探究数学I β (3時間)
清心中学入学生・選抜・生命	高校入学生	
数学I 第1章「数と式」 第3節「1次不等式」P.33～ 第4節「集合と命題」	数学I 第1章 「数と式」P.6～ *土セミや夏補習を利用して	数学I 第2章「2次関数」 第1節「2次関数とグラフ」 第2節「2次関数の決定」 (最大・大小まで)
数学A 第3章「整数の性質」 第1節「約数と倍数」 第2節「ユークリッドの互除法」 第3節「整数の性質の活用」 数学I 第3章「図形と計量」 第1節「三角比」(三角比まで)	清心中に追いつく。追いついた後は左記と同じ	数学I 第2章「2次関数」 第2節「2次関数の決定」 (2次関数の決定～) 第3節「2次方程式と2次不等式」 数学A 第1章「場合の数と確率」 第1節「場合の数」(順列まで)
数学I 第3章「図形と計量」 第1～2節「三角比」(三角比の相互関係から)「三角形への応用」 (数A「平面図形」の内容に触れながら相互理解を図る)		数学A 第1章「場合の数と確率」 第1節「場合の数」(組み合わせ～) 第2節「確率」
数学A 第2章「図形の性質」 第1節～2節「平面図形」「空間図形」 数学II 第5章「指数関数・対数関数」 第1～2節「指数関数」「対数関数」 *指数および対数の関数・グラフの部分は3学期へ		数学I 第4章「データの分析」
数学II 第5章「指数関数・対数関数」 第1節「指数関数」 第2節「対数関数」 *常用対数を学習後、指数関数および対数関数のグラフに入る		数学II 第1章「式と証明」 第1節「式と計算」*第2節は2年次へ 数学II 第2章「複素数と方程式」 第1節「複素数と2次方程式の解」 第2節「高次方程式」
評価の方法	定期テスト(参考書テストもある)、小テスト、提出物	
学習活動の特徴	講義、演習	
授業の形態	クラス単位(ABC組の探究数学I α のみ、中学入学生と高校入学生に分かれる)	
使用教科書	高等学校 数学I 数学A 数学II (いずれも数研出版)	
使用副教材	Classi, スタディサプリ	
用意するもの	教科書、ノート	
備 考	定期テスト時、テストあり。名称；探究数学I γ	